

## 災害発生時の災害廃棄物仮置場の調査（オープンスペースを含む）・データベース化・地図化

### 1.調査概要

近畿地方環境事務所管内の府県、市町村等を対象に、災害発生時における廃棄物の仮置場又は、候補地として選定している場所（他の使用方法も含めたオープンスペースとして選定している箇所を含む。）をデータベースとして、一覧表にまとめる。併せて、近畿ブロック管内の地図に当該箇所を明記した資料を作成する。

### 2.調査実施方法

#### (1)日時

平成 27 年 11 月 18 日～11 月 30 日〆切（回収は 12 月 10 日時点）

#### (2)調査対象、実施方法

2 府 4 県を通じて電子メールにより府・県下全市町村へ配信し、メールにより回収。

#### (3)回収状況

府県	配信数	回収数	回収率
滋賀県	20	12	60.0%
京都府	27	17	63.0%
大阪府	44	35	79.5%
兵庫県	42	32	76.2%
奈良県	40	23	57.5%
和歌山県	31	28	90.3%
計	204	147	72.1%

（注）12 月 10 日時点の状況。なおサンプル数には市町村に加え、府県も含む。

#### (4)調査項目

- 災害発生時の廃棄物仮置場候補予定地のリストアップの状況
- リストアップしている場合、候補予定地のリスト
- 提供情報の取扱い（公表可否）について

### 3.調査結果

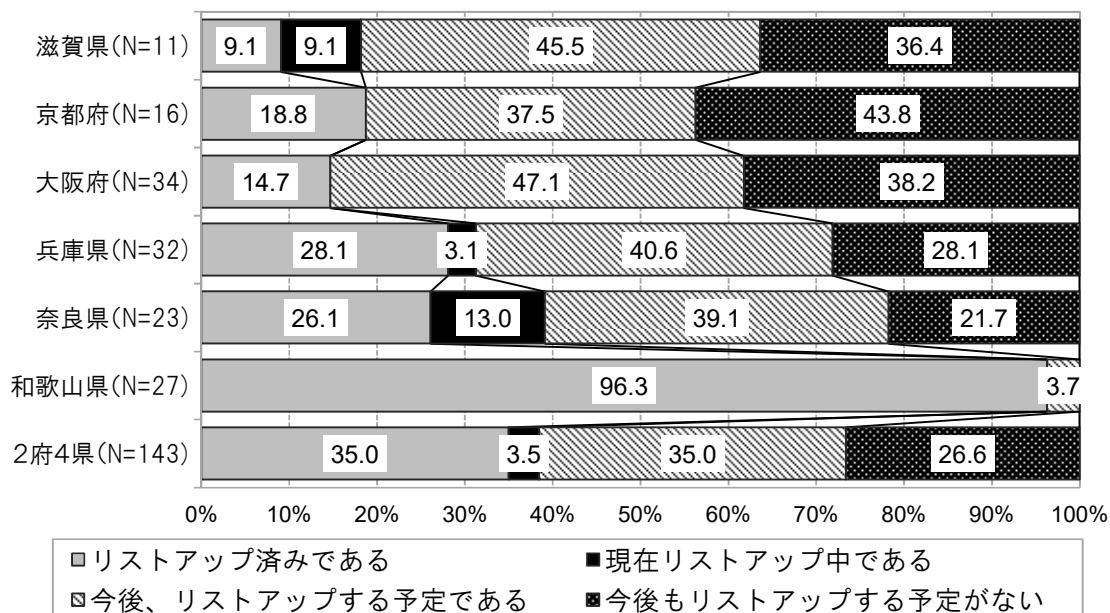
#### (1)仮置場候補予定地のリストアップの状況

##### ア 府県

	リストアップ済	リストアップ中	リストアップする予定	リストアップする予定なし
滋賀県			○	
京都府			○	
大阪府		○		
兵庫県	未回答(12/10時点)			
奈良県	未回答(12/10時点)			
和歌山県	○			

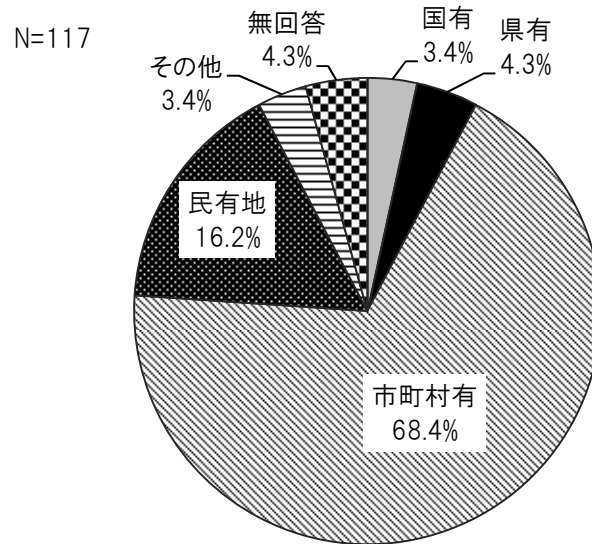
##### イ 市町村

各府県下の市町村では、和歌山県では 96.3%の自治体がリストアップ済みであると回答した。次いで、兵庫県が 28.1%、奈良県が 26.1%とリストアップ済みである自治体の比率が高い。



### (1)仮置場の所有者

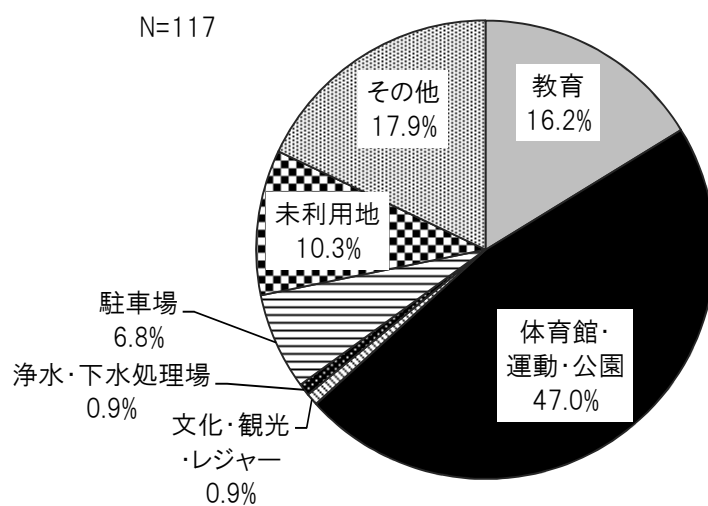
リストアップのあった仮置場について、所有者として「市町村有」が最も多く、次いで、「民有地」であった。



※和歌山県は検討中

### (2)仮置場の平時の用途

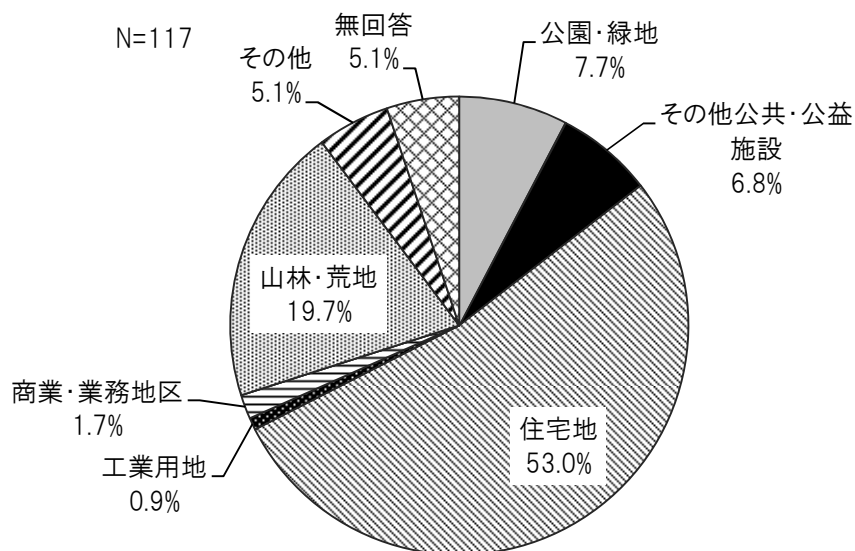
リストアップのあった仮置場について、平時の用途として「体育館・運動・公園」が最も多く、次いで、「教育」、「未利用地」であった。



※和歌山県は検討中

### (3) 仮置場の周辺の主な土地利用

リストアップのあった仮置場について、周辺の主な土地利用として「住宅地」が最も多く、次いで、「山林・荒地」、「公園・緑地」であった。



※和歌山県は検討中

### (4) 仮置場の面積

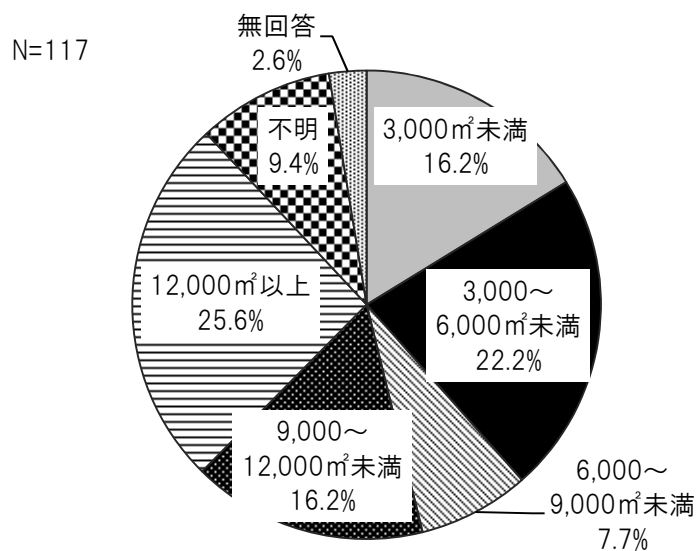
#### ア 府県別敷地面積

府 県	敷 地 面 積
滋 賀 県	313,062 m <sup>2</sup>
京 都 府	455,034 m <sup>2</sup>
大 阪 府	84,165 m <sup>2</sup>
兵 庫 県	300,445 m <sup>2</sup>
奈 良 県	123,124 m <sup>2</sup>
和歌山県	4,374,502 m <sup>2</sup>
合 計	5,650,332 m <sup>2</sup>

※敷地面積不明・無回答 14 件

## イ 敷地面積

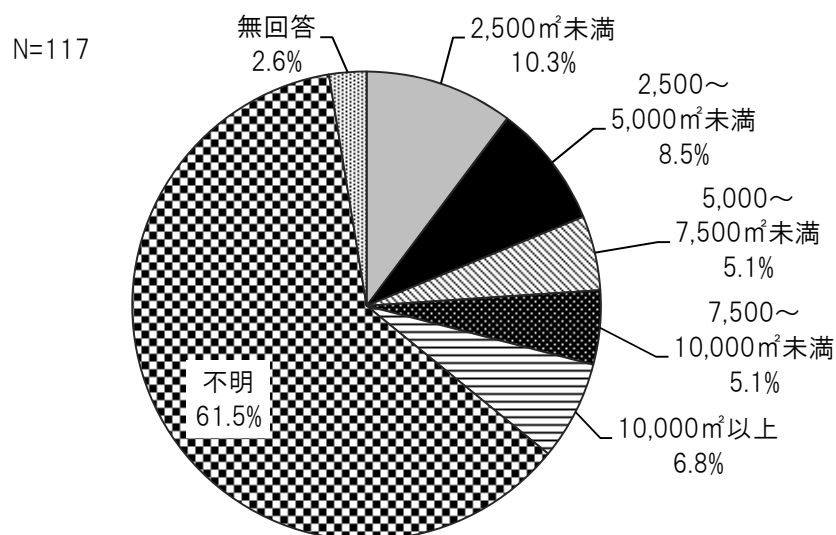
リストアップのあった仮置場について、敷地面積は「12,000 m<sup>2</sup>以上」が最も多く、次いで、「3,000～6,000 m<sup>2</sup>未満」であった。



※和歌山県は検討中

## ウ 敷地面積のうち仮置場として使用可能な面積

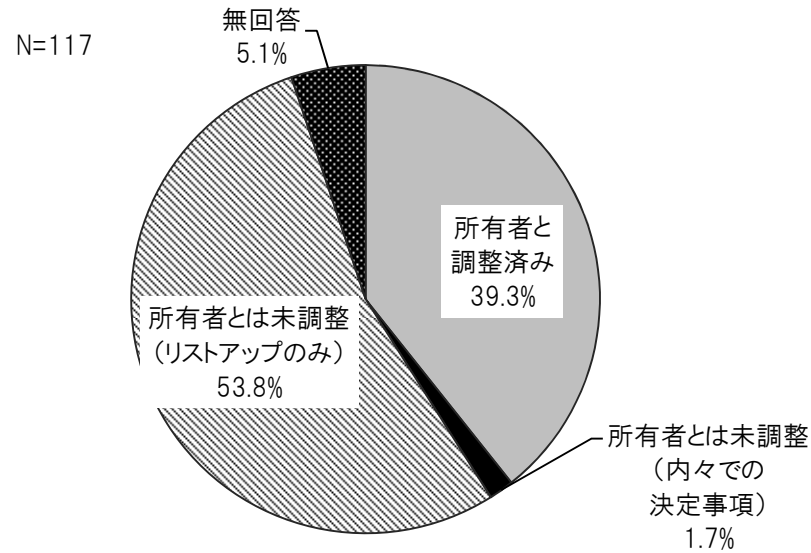
リストアップのあった仮置場について、敷地面積のうち仮置場として使用可能な面積は「2,500 m<sup>2</sup>未満」が最も多く、次いで、「2,500～5,000 m<sup>2</sup>未満」、「10,000 m<sup>2</sup>以上」であった。



※和歌山県は検討中

### (5) 仮置場における所有者との調整状況

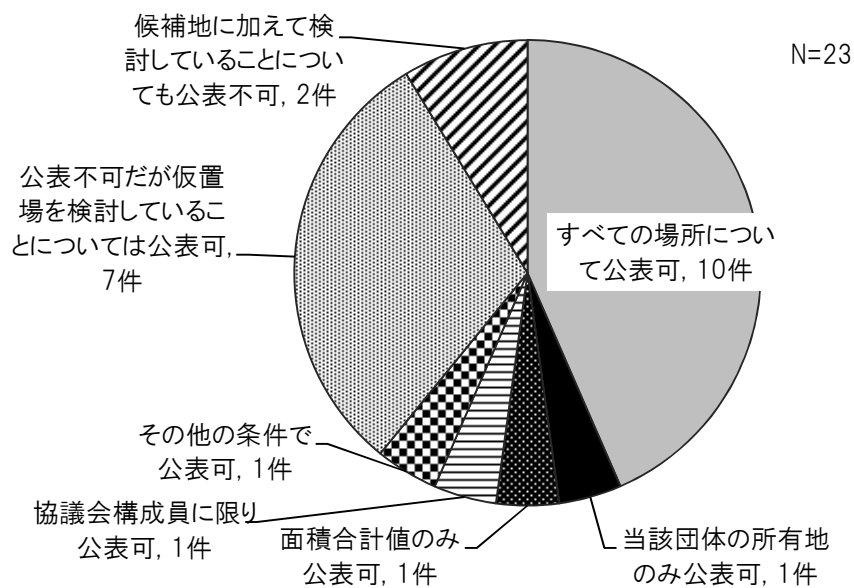
リストアップのあった仮置場について、所有者と調整がなされている施設は 39.3%であった。



※和歌山県は検討中

### (6) 仮置場候補地の公表可否について

仮置場候補地をリストアップしている自治体は和歌山県を除くと 23 自治体だが、このうち候補地について「公表可」と回答した自治体は、10 自治体 (43.5%) であった。



※和歌山県は検討中

## 【参考】調査に使用した回答票

### 災害発生時の廃棄物仮置場の候補予定地に関する調査

- 貴自治体の府県名、市町村名についてご記入ください
- 主に調査の回答にご協力いただいたご担当者の所属についてご記入ください  
( ↓ 本アンケートに関する照会先に○をつけてください。 )

府県名	
市町村名	

照会先	所属	名前	連絡先

- 災害発生時の廃棄物仮置場候補予定地(オープンスペース等)の検討状況についておたずねします。

・以下の設問をご回答いただくに当たっては、必ず貴団体の防災関係部署に確認を取って下さい。

- 問1. 貴団体では、公表・非公表に関わらず、災害発生時の廃棄物仮置場候補予定地をリストアップしていますか？

・あてはまるものを1つだけ選んで該当する回答欄に「1」(半角)を入力してください。

回答欄

	1. リストア済みである
	2. 現在リストアップ中である
	3. 今後、リストアップする予定である
	4. 今後もリストアップする予定がない

⇒「1.」の場合、問2へ

⇒「2. ~4.」の場合はアンケート終了です

- 問2. 貴団体においてリストアップされている仮置場の候補予定地(オープンスペース等)について、下記の表へ具体的に入力してください。

・下表の各項目が分かる資料、URL等を添付いただいても構いません。

・行数が足りない場合は、行を追加して入力してください。

・面積については、詳細が分からない場合は概数でも結構です。不明な場合は「-」を入力してください。

回答欄

	名称	住所	所有者	平時の用途	周辺の主な土地利用	敷地面積 (㎡)	うち仮置場として使用可能な面積 (㎡)	所有者との調整状況	仮置場の位置付け (一次・二次)
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									

- 問3. 仮置場の候補予定地(オープンスペース等)は、データベースに整理した上で公表を予定しています。

もし、情報開示が困難な場合は、以下についてご回答ください。

・あてはまるものを1つだけ選んで該当する回答欄に「1」(半角)を入力してください。

・「6. その他の条件で公表可」を選択した場合は、具体的な条件を入力してください。

回答欄

	1. すべての場所について公表可
	2. 貴団体の所有地のみ公表可
	3. 民有地以外は公表可
	4. 貴団体内の面積合計値のみ公表可
	5. 「大規模災害発生時廃棄物処理近畿ブロック協議会」の構成員に限り公表可※
	6. その他の条件で公表可
	7. 公表不可(仮置場を検討していることについては公表してもよい)
	8. 公表不可(仮置場を検討していることについても公表不可)

↓具体的な条件をご記入下さい。

条件	
----	--

記入例①: ○○○、△△△(具体名)のみ公表可

記入例②: 上表の1~6の場所のみ公表可、それ以外は不可

※詳しくは別シート「③近畿ブロック協議会構成員」をご参照ください

アンケートは以上です。ご協力有難うございました。